

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療等IDのシステム開発等事業			担当部局庁	政策統括官(統計・情報政策担当)			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	情報化担当参事官室			佐々木 裕介	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	日本再興戦略2016(平成28年6月閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本再興戦略改訂2016(平成28年6月閣議決定)において、地域の医療機関の情報連携や研究開発の促進、医療の質の向上に向け、マイナンバー制度のインフラを活用し、医療等分野の番号を導入することとされ、医療等分野における番号制度の活用等に関する研究会報告書(平成27年12月10日同研究会取りまとめ)を踏まえ、医療保険のオンライン資格確認及び医療等ID制度の導入について、2018年度からの段階的運用開始、2020年からの本格運用を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2018(平成30)年度からの段階的運用に向けて、2017(平成29)年度から、医療保険のオンライン資格確認の基盤を活用し、医療情報の地域連携や研究利用など、保健医療分野の情報連携を安全で効率的に行うため、医療等分野で患者を一意的に識別できる「医療等ID」を生成・発行するためのシステムの設計・開発を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	4,190	
	執行額	-	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-	-	成果実績		-	-	-	-	-
	-	-	目標値	件数	-	-	-	-	-
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	医療等IDの発行による、地域医療連携の推進や患者情報の共有にて得られる効果は、患者にID(識別子)を付与するだけではなく、患者負担や診療報酬によるインセンティブなど、総合的な取組で達成されるものであるため、定量的な評価は困難である。			医療等IDの発行による、地域医療連携や研究用データベースの連結に係る施策が円滑に実施されることを、定性的な成果目標とする。					
	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	医療等IDに係るシステムが構築される	医療等IDに係るシステムが構築されたことをもって達成とする。	実績	-	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	医療等IDに係るシステム整備構築事業交付件数	活動実績	件	-	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	医療等IDに係るシステム整備構築事業交付決定額/交付件数			単位当たりコスト	-	-	-	-	
				計算式	/	-	-	-	

内訳 29年度 （単位予算）	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	0	4,190	平成29年度からの新規事業。
	計	0	4,190	

政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 電子行政推進に関する基本方針を推進すること								
	施策	施策目標XII-1-2 社会保障・税番号制度について、国民の理解を得ながら、その着実な導入を図るとともに、社会保障・税番号の利活用を推進し、国民の利便性の向上を図ること								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		-	実績値		-	-	-	-		
			目標値		-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
		-				-				
						施策の進捗状況(実績)				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	マイナンバー制度のインフラを活用して、医療等分野で患者を一意的に識別できる「医療等ID」を導入することにより、地域の医療機関の情報連携や研究開発を促進し、医療の質の向上を図る。									

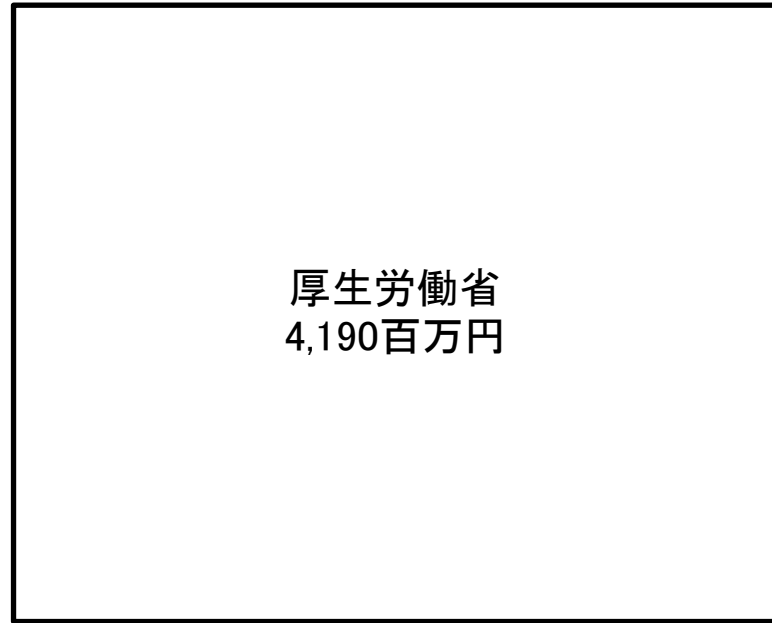
改革項目 （第一階層） （第二階層）	分野:	-	-						
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-		
	KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
-									

事業所管部局による点検・改善			
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療等IDは、マイナンバーのインフラを活用して、地域の医療機関の情報連携や研究開発を促進し、医療の質の向上を目的とするものであり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療等IDは医療保険のオンライン資格確認の仕組みと一体的に管理・運営するのが効率的であり、支払基金・国保中央会がIDの発行機関となることに合理性があるため、国費を投入する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「日本再興戦略2016」において、医療等IDについては、2018年度からの段階的運用開始となっており、それを確実に実施するためには必要且つ優先度の高い事業となっている。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

[平成29年度予定]



[「医療等ID」を生成・発行するためのシステムの設計・開発等にかかる経費について補助]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-	-	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-		-	-	-	-	